

M.M. 2022年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

北九州市立大学地域創生学群での4年間は、とにかく「普通の大学生で終わりにたくない」という想いから、やったことのないことにどんどん挑戦し続けた期間でした。猪倉実習や片岡ゼミでの学び、フットサル部として全国大会に出場した経験、4年間欠かさず続けたラジオ体操、さらには三日坊主克服事業というオンラインビジネスの立ち上げまで、とにかく興味を持ったことには飛び込んでみる——それを徹底してきました。

もちろんすべてが順風満帆だったわけではありません。理想と現実のギャップに苦しむことも多く、思うような結果が出なかったり、複数の活動を同時並行で進める中でスケジュール管理に追われ、心が折れそうになった瞬間もありました。ですが、そこで逃げずに向き合えたのは、「何のためにやっているのか？」という目的意識を自問自答し続けたからです。迷ったときは立ち止まらず、とりあえず一歩踏み出してみる。完璧さより挑戦を優先する。そのスタンスが、壁を越える推進力になりました。

活動を通して学んだ一番大きなことは、「何がしたいかより、何のためにやるのが大切」ということです。表面的な目標や肩書きよりも、自分が心から納得できる目的があるかどうかで、継続力も結果も大きく変わると実感しました。そして行動と継続こそが人生を変えるということも体感しました。大きな成果は、特別な才能から生まれるのではなく、小さな積み重ねが連続した先にしか生まれません。毎日続けたラジオ体操や、思い切って挑んだビジネス、チームで取り組んだフットサルが、結果的に自分の自信と軸になっています。

大学生活で得た経験はすべて、今の自分の土台であり財産です。挑戦してよかった、努力してよかったと胸を張って言えます。この4年間で培った「目的を持って挑戦し続ける姿勢」を、これからの人生でも大切にしながら、また新しいステージへ挑んでいきたいです。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

地域創生学群を卒業してからの私は、とにかく「枠に収まらない人生を生きる」と自分に誓い、常識や安定よりも挑戦を選び続けてきました。就職というレールに乗るのではなく、自分の実力で稼ぎ、価値を証明したかった。だからこそ、Webマーケティング・人材紹介・アルバイト紹介アプリの開発、そしてエンターテインメントパブで働きながら芸人を目指すという、とてつもない密度の毎日を自分に課しました。正直、無謀だと言われたこともあります。でも、それすら自分を奮い立たせる燃料でした。その積み重ねの先に、今の自分があります。

現在はエンターテインメントパブのキャプテン（店長）として店舗運営の指揮を取り、アジア1を本気で狙っています。さらに、ボルクバレット北九州のスタジアムMCとしても活動し、エンターテインメントの世界のど真ん中で、自分の存在価値を磨き続けています。仕事を通して痛感しているのは、「向いている仕事」なんて探す必要はないということです。目の前の仕事に本気で向き合い、好きになる努力をすれば、それが武器になる。信頼と信用こそ、人生最大の資産であり、挑戦の扉を開く鍵です。だから私は、常に夢と野望を持って働く決めてしています。

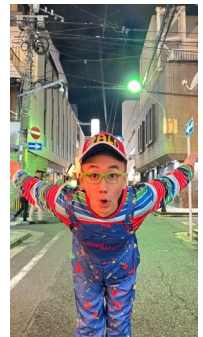
将来のビジョンは、お店をアジア1のエンターテインメントパブにすること。そして、圧倒的なエンターテインメントのプロ集団をつくり、ステージから世の中に元気と活力を届け続けること。まだ道半ばですが、私はこの人生を賭ける価値があると心から信じています。挑戦は終わりません。ここからが本番です。

現役生へのメッセージ

大学生活の中で、僕自身が感じたのは「行動と継続が人生を少しずつ変えてくれる」ということです。周り比べて落ち込むより、過去の自分を少しでも超えられたらそれで十分だと思っています。挑戦してもうまくいかない日もありますが、続けていると道が拓ける瞬間があります。そして支えてくれる人の存在は本当にありがたく、そのおかげで前に進めました。もし迷ったり立ち止まりそうになったときは、深く考えすぎずにまずやってみてもいいのかもしれない。小さな一歩でも未来につながると僕は信じています。僕もまだまだ挑戦するつもりです。一緒に頑張りましょう。



1年生の春に学群のスタディツアーでカンボジアに行ったとき、自分の価値観を大きく広げるきっかけになりました。



大学時代に学んだ敷地に価値なしエリアに価値ありの精神でエンタメで小倉のまちを元気にするために活動中。